



将来ビジョン「私学における薬学、生命科学教育・研究の拠点となる」

学生ファーストの教育・研究環境の充実化

東京薬科大学ブランドの薬学・生命科学教育カリキュラムと、教育研究環境の充実化による人材育成

●卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	●教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	●入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)
1. 教育 薬学部、生命科学部ともに学生やその他ステークホルダーにとって魅力的な教育機関となる	薬学部、生命科学部連携の強化 時代をリードする薬剤師と多様な職域で活躍する薬学人を育成するため、幅広い教育プログラムを実施する 医療人としての基礎学習を重視し、教育研究の学びを高い薬剤師国家試験合格率の維持につなげる	生命科学領域で、時代の変化を見据えた先進的な教育・研究をリードする 生命科学の知識を生かし、新分野・新事業を開拓できる人材を養成する
(1) 医療薬学教育の強化・チーム医療実践教育の構築 (2) 研究力を備えたファーマシスト・サイエンティストの育成 (3) 社会が求める薬剤師像を反映した薬学教育(国家試験対策の支援)	(1) 情報・データサイエンス分野の強化 —データサイエンティストの養成— (2) 国際化の推進 —高度な語学力と国際感覚を備えた人材の養成— (3) サイエンスとビジネスを繋ぐ人材の育成 —アントレプレナーの養成— (4) 将来、国内外で活躍できる研究者の早期育成のためのコースの設置を検討	
2. 研究 健康社会の実現に向けた研究の推進と人材の育成	(1) 共同研究の加速化と産学官金地公の事業展開	(2) 学内研究資源の一元管理による研究環境整備の強化
3. 入試 薬・生命両学部の志願者数を安定的に維持	4. 学生支援 多様な学び方を支援できる奨学金制度の確立	5. 学術情報基盤 時代の変化に対応した図書館・情報基盤の再構築

地域貢献・社会貢献

地域とともに歩む教育・研究活動により、社会に貢献

- | | | | | | |
|---------------------------------------|---|-----|---------------------|-------|-----------------------|
| 1. 全学的地域連携センターの設置 | 5. ICTを活用した地域医療ネットワークの構築 | | | | |
| 2. 地域活性化を担う人材の育成システムの構築 | 6. 災害支援対策による地域課題の解決 | | | | |
| 3. 生涯教育(薬学・生命科学分野)の拠点化 | 7. 地域医療・衛生に貢献する46道府県の東京薬科大学地域支部の設立・運営 | | | | |
| 4. 卒業生・薬剤師向け卒業教育の推進及び地域における理科教員への支援活動 | <table border="1"> <tr> <td>薬学部</td> <td>地域包括ケア 地域と連携した研究を推進</td> </tr> <tr> <td>生命科学部</td> <td>インパクトある研究を社会に発信・成果を活用</td> </tr> </table> | 薬学部 | 地域包括ケア 地域と連携した研究を推進 | 生命科学部 | インパクトある研究を社会に発信・成果を活用 |
| 薬学部 | 地域包括ケア 地域と連携した研究を推進 | | | | |
| 生命科学部 | インパクトある研究を社会に発信・成果を活用 | | | | |

国際交流

国際的に行動・活躍できる人材の育成に向けた環境を整備し、国際交流を推進

- | | |
|--|--|
| 国際交流センターの充実
海外協定大学等との研究交流、人的交流
国際的マインドを備えた人材の育成とネットワーク作り
グローバル人材の育成に向けたプログラム化(学部教育) | 2. 薬学部6年間一貫した国際交流プログラムの開設
3. 生命科学部における国際化の推進
4. 海外研修特別奨学生制度の創設
5. 海外ネットワークの整備 |
| 1. 「海外連携教育研究センター」(仮称)の設置 | |

法人組織の強化

- ・建学の精神と歴史に学ぶ
- ・目標を着実に実現できる組織力・行動力・教育研究力を強化
- ・次の世代を担う教員・職員の育成

- | | | | | |
|--|----------------------|----------------------|------------|---------------|
| 1. 理事の責任の明確化と実績評価 | 5. 広報力・ブランド力の強化 | 10. 施設・設備整備 | 法人ガバナンスの強化 | |
| 2. 委員会の評価・再編 | 6. 受験生獲得の強化 | 11. サテライト施設の検討 | | 史料館の整備 |
| 3. 評価制度の導入(教員評価・事務職員評価・研修の機会) | 7. 薬剤師による医療業務向上への支援 | 12. 計画実現のためのPDCA体制 | | 経営の強化と安定性・継続性 |
| 4. 情報公開による問題意識共有
法人・教務部門双方の積極的な情報公開 | 8. 卒業生との連携強化 | 13. 経営強化への事務職員の積極的参画 | | 本学の価値向上 |
| | 9. 知的財産を管理・利用する体制の構築 | 14. 事務組織力の強化 | 職員の能力向上 | |

財務強化戦略

永続的に発展し、医療福祉に貢献できる大学としての財源確保

1. 将来的に安定した財政基盤を築くための収入増	基本金組入前当年度収支差額	運用資産余裕比率	収益増加策	引当特定資産
2. 固定化した経常費等の支出の適正化	ST比・SS比		固定費削減	



2030年の未来へ向けて持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた東京薬科大学の行動目標